

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

トンネルで Cisco Encryption Technology (CET) 暗号化を設定するには、トンネルのインターフェイスで暗号化を設定する必要があります。また、トンネルの最終的な接続先に向う物理インターフェイスでも暗号化を設定する必要があります。

注CET 暗号化は [廃止](#) されました。移行のためには、暗号化方式として IP Security (IPSec) をお勧めします。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



ネットワーク ダイアグラムに関する注記

- r3-4k の背後の 8.8.8.8、および R6-2500 の背後の 7.7.7.4 は端末です。これらが互いに ping を実行すると、トラフィックはトンネルを通過します。
- Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) トンネルは、トンネルの発信元および送信先としてループバック インターフェイスが設定されています。
- トンネルを通過するトラフィックも暗号化を行います。この機能を実行するにはトンネルトラフィックを暗号化するために、トンネル インターフェイスと物理送信インターフェイスの両方において暗号化マップを結びつける必要があります。

設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

- [r3-4k](#)
- [R1-AGS](#)
- [R6-2500](#)

| |
|---------|
| r3-4k |
| R1-AGS |
| R6-2500 |

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [IPSec に関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)